

科目コード	N208
授業科目名	放射線医学概論
授業科目名(英文)	Introduction to Radiology
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学年	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	青木 隆敏
授業の概要	放射線は1895年にレントゲンによりX線が発見され100余年の歴史があり、画像診断・インターベンショナルラジオロジー・放射線治療において欠くことのできないものとなっている。しかし、放射線に関する知識が十分でないと、看護職の言動が患者の不安を助長することもある。この科目では、放射線診療の実際について理解し、患者の抱いている不安を理解し、その不安にこたえられる看護職を目指して、さらに患者が抱いている誤解を解けるように放射線診療に関する理解を深める。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 放射線診療の実際について説明できる。 2. 放射線治療のための放射線生物学を理解できる。 3. 患者が抱いている、放射線に関する誤解・不安について理解し、その対応を説明できる。 4. 放射線治療における看護ケアについて説明できる。 5. インターベンショナルラジオロジーの特徴と看護ケアについて説明できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	授業への取り組み・参加の姿勢(40%)、筆記試験(60%)で100点中60点以上が合格
教科書	指定する教科書はなし(オリジナルの教材を配付)
参考書	
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R4.10.4	火	II	現代医療における放射線医学の役割と医療被曝	講義	青木 隆敏	1	
				予習 オリジナル教材を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
2	R4.10.11	火	II	画像診断および核医学の実際	講義	林田 佳子	1	
				予習 オリジナル教材を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
3	R4.10.18	火	II	各種造影検査および造影剤と看護	講義	青木 隆敏	1	
				予習 オリジナル教材を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
4	R4.10.25	火	II	インターベンショナルラジオロジー(IVR)と看護	講義	村上 優	1	
				予習 オリジナル教材を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
5	R4.11.8	火	II	放射線生物学および放射線治療の基礎	講義	大栗 隆行	1	
				予習 オリジナル教材を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
6	R4.11.15	火	II	放射線治療・温熱療法の実際と看護	講義	垣野内 祥	1	
				予習 オリジナル教材を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
7	R4.11.22	火	II	まとめ(1)	講義	青木 隆敏	1	
				予習 オリジナル教材を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
8	R4.11.29	火	II	まとめ(2)	講義	青木 隆敏	1	
				予習 オリジナル教材を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				